

## 教科目名 校外実習 (Factory Training)

学科名・学年 : 機械工学科 4 年 (教育プログラム 第 1 学年 ○科目)

単位数など : 選択 1 単位

担当教員 : 中野 壽彦

授業の概要			
校外実習を行う国若しくは地方公共団体の機関又は企業等の実習機関での就業体験 (インターンシップ) を通して、専門分野での自分の知識を確かめ、さらに発展させると同時に、与えられた問題に対してプロジェクトで解決する手法について習得する。また、社会が要求する技術者像を掴んで自分の今後の学習に生かすことや、社会人、職業人としての基本的な心構えについても学ぶ。			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (D2), JABEE 目標 (d4)	
(1) プロジェクトによる体験を通して、問題を解決する手段や方法を理解する。(報告書, 報告会)			
(2) 自分の専門分野が実務のどの部分に貢献できるのかを明確にする。(報告書, 報告会)			
(3) 社会から期待される技術者像・人物像を的確に把握し、その心構えが出来ること。(報告書, 報告会)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
5 月	1. ガイダンス	○以下は校外実習のスケジュールと内容の概略であり、校外実習の詳細およびその取り決めについては、学生便覧中に記載の「 <u>大分工業高等専門学校における校外実習、課題学修及び特別学修に関する細則</u> 」を参照すること。	【理解の度合い】
6 月	2. 実習派遣先の調整	○5 月に学級担任または学科長より校外実習についてのガイダンスを実施する。	
7 月	3. 実習先の決定	○学級担任による派遣企業の確認、他科との調整等が行われる。	
8 月 ～ 9 月	4. 実習	○学級担任を通じて、学科長に申し込み(所定様式「校外実習願」)を行う。派遣決定までのその後のステップについては、上記の細則に従う。	
10 月	5. 校外実習報告書の提出	○原則夏期休業期間中の派遣とし、実習期間は 1 日を 6 時間と換算し、5 日間 (30 時間) 以上とする。	
10 月	6. 実習報告会の開催	○実習後、所定のフォーマットにて各自報告書をまとめ、期限日までに学科長に提出する。  ○実習の内容や成果などについて発表し、質疑応答を行う。	
履修上の注意		実習派遣先はインターンシップ学生を厚意で引き受けて下さっているので、様々な場面で迷惑を掛けることの無いように細心の注意をすること、企業その他で得た技術的な情報・その他の情報については、その守秘義務が発生していることを理解し、決して外部に漏らすことが無いように努めること、社会人としての常識をいつも考えて行動すること等の心構えが必要である。校外実習の詳細については、学生便覧の「大分工業高等専門学校における校外実習、課題学修及び特別学修に関する細則」を参照すること。	【総合達成度】
教科書		なし	
参考図書		担当教員と相談の上、各自で必要なものを調査して用意する。	
自学上の注意		実習派遣先の指示に従い、事前・事後学習が必要とあれば対応する。	
関連科目		工学実験Ⅲ, 実務実習 (専攻科), プロジェクト実験Ⅰ (専攻科)	【総合評価】 点
総合評価		達成目標(1)～(3)について実習期間からの「校外実習証明書」、本人の「校外実習報告書」および前期末に実施の実習報告会を総合して評価する。	